

みやこ市議会だより

羅針盤

らんばん

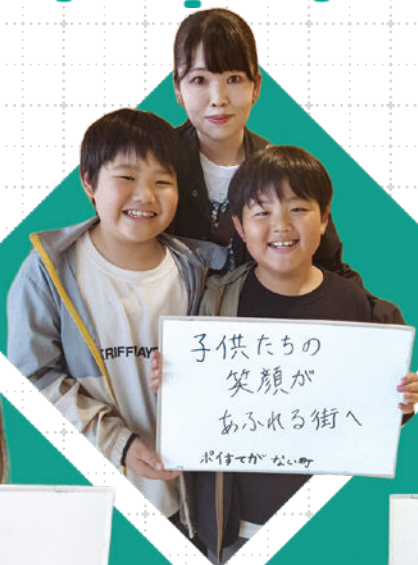
読むと、まちは少し良くなる。

2026

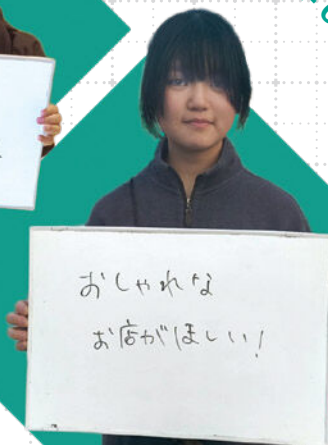
8.1

No. 85

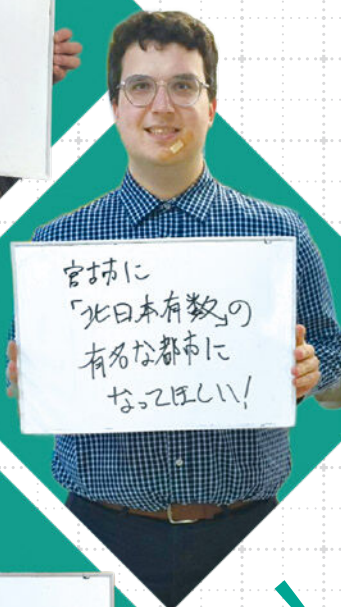
令和8年6月議会



子供たちの
笑顔が
あふれる街へ
ボイスマーク ない町



おしゃれな
お店がほしい！



宮古に
「北日本有数の
有名な都市に
なしてほしい！



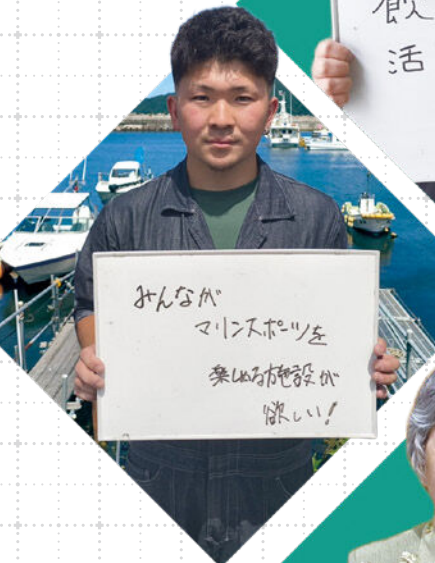
宮古の魚が
美味しいのも
皆様に知ってもらいたい



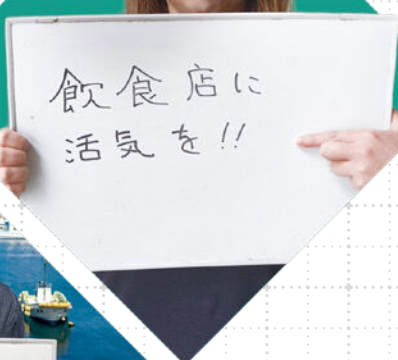
すごい美味い
宮古の農産物



どんぐりで
森を豊かに



みんなが
マリンスポーツを
楽しめる施設が
ほしい！



飲食店に
活気を！！

注目記事
市議会 第7期
新体制でスタート！
2ページ

トピックス 14 ページ

市民がまちづくりに参加！
議会モニターへ委嘱状を交付

トピックス 15 ページ

議会広報編集委員会のメンバーが一新！
議会広報編集委員会の新メンバー

9 ページ

ここが聞きたい！市政を問う
令和8年6月議会一般質問

市民がまちを
もっと
かんたん
に
しよう！



市議会議員選挙後の初の議会
となる令和8年5月開会会議が、5月15日に開かれました。

会議では、議長に橋本久夫議員、副議長に竹花邦彦議員を選出したほか、常任委員会や、議会運営委員会の委員、一部事務組合議員が決定しました。

市議会の新体制を報告します。

市議会 第7期 新体制でスタート!

議長あいさつ

市民の皆さまには、日頃より市議会活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたびの改選を経て、第7期宮古市議会は19人の新たな体制でスタートし、引き続き議長の重責を担わせていただくこととなりました。今後4年間、議員一人ひとりが力を結集し、市政課題の解決に向けて「オール議会」の精神のもと全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまの声を真摯に受けとめ、健康で安心して暮らせる地域づくりと、より身近で開かれた議会の実現に努めてまいります。今後とも市議会へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長

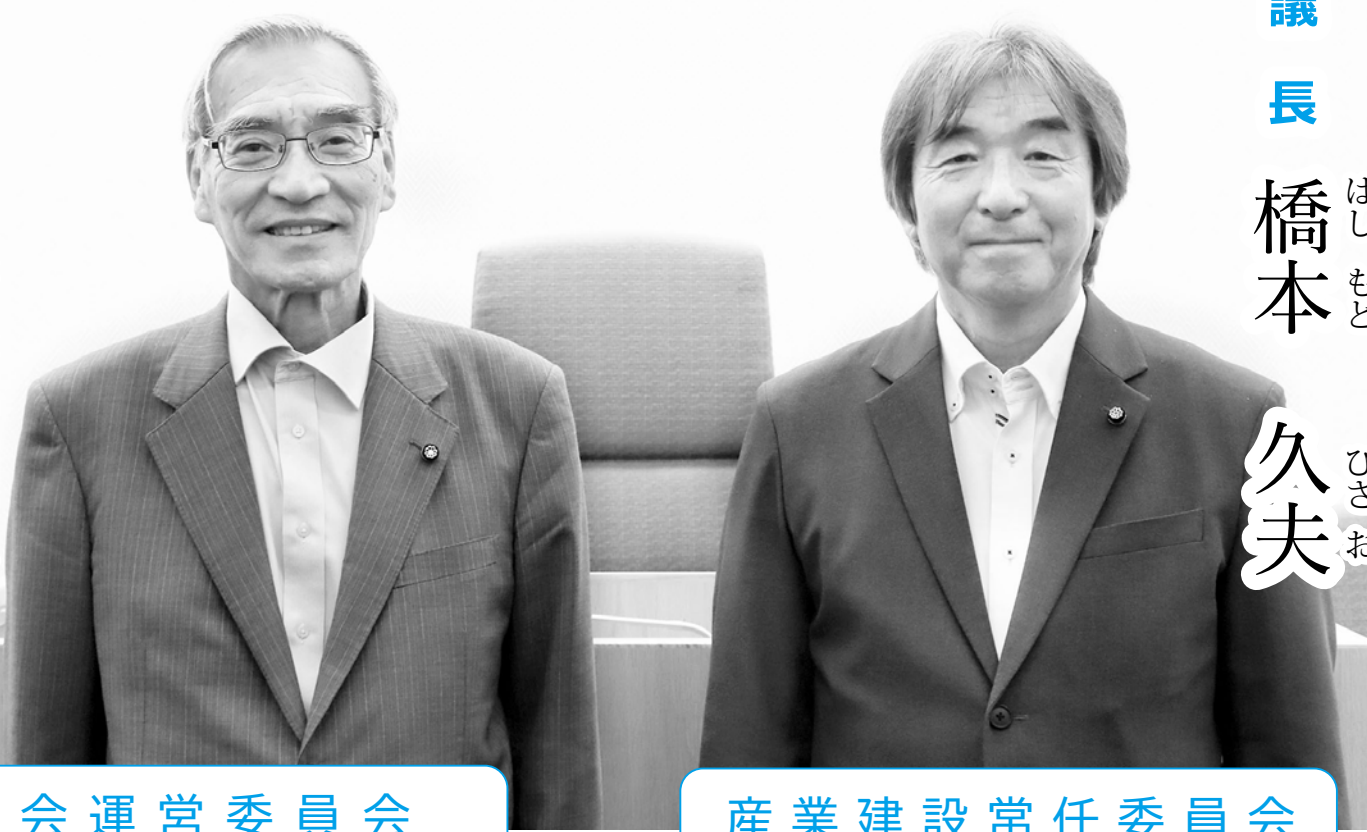
橋本

久夫

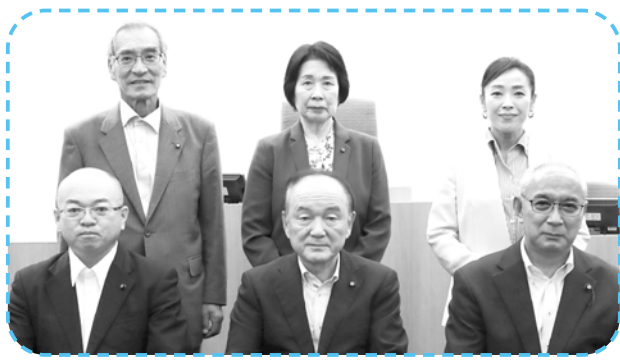
副議長

竹花

邦彦



総務常任委員会



◎委員長 松本 尚美
○副委員長 木村 誠
委員 佐藤 和夫、古館 博、工藤 小百合、竹花 邦彦

議会広報編集委員会

◎委員長 古館 博
○副委員長 植田 収一
委員 八谷 光介、花輪 政文、中居 克広、佐藤 和美

一部事務組合議員など

宮古地区広域行政組合議会
木村 誠、小島直也、鳥居 晋、伊藤 清、工藤小百合

岩手県後期高齢者医療広域連合議会
木村 誠

会派構成 (◎=会派代表者)

立憲・市民クラブ	◎花輪政文	八谷光介
	竹花邦彦	
みやこ未来創造クラブ	◎西村昭二	山崎高広
	中嶋勝司	伊藤 清
	橋本久夫	
みやこ結クラブ	◎白石雅一	佐藤和美
	古館 博	木村 誠
創和会	◎工藤小百合	鳥居 晋
無所属クラブ	◎松本尚美	植田収一
公明党	◎小島直也	
日本共産党	◎落合久三	
※会派に属していない議員 中居克広		

議会運営委員会



◎委員長 落合 久三
○副委員長 小島 直也
委員 花輪 政文、白石 雅一、西村 昭二

産業建設常任委員会



◎委員長 西村 昭二
○副委員長 山崎 高広
委員 植田 収一、八谷 光介、鳥居 克広

教育民生常任委員会



◎委員長 白石 雅一
○副委員長 伊藤 清
委員 花輪 政文、中居 克広、中嶋 勝司

定例会議の流れ



令和8年度補正予算
令和8年度一般会計補正予算は4億1819万8千円増額し、令和8年度の一般会計予算総額は、371億9719万8千円となりました。

可決した条例
6月定例会議で可決した条例をお知らせします。

- 宮古市市税条例の一部を改正する条例
- ▼地方税法の改正に伴い、所要の改正を行う条例です。
- 宮古市火葬場条例の一部を改正する条例
- ▼宮古市川井火葬場を廃止することに伴い、所要の改正を行う条例です。
- 宮古市文化財保存活用地域計画協議会条例
- ▼宮古市文化財保存活用地域計画協議会を設置するための条例です。

その他の議案
6月定例会議で可決したその他の議案の一部をお知らせします。

- 財産の取得に関し議決を求めることについて(3件)
- ▼消防ポンプ自動車及び新里給食センターの真空冷却機、給食配送車の購入を決定する議案です。

請願
ゆたかな学びの実現、定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について(請願者 岩手県教職員組合下閉伊支部支部長 鈴木永輝)

採択した措置
意見書の送付
可決した意見書
○ゆたかな学びの実現、定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書

説明事項
今定例会議で提示された説明事項のうちの主なものを紹介します。

次の計画策定は今年度中に計画を完成させるもので、市民の意見を広く聞くためのパブリックコメントが実施されます。
広報みやこ、市のホームページなどから情報が提供されますので、市民の皆さまのご意見をお寄せください。

- 公共施設等総合管理計画の策定方針について
- 第12次宮古市交通安全計画の策定方針について
- 第5期宮古市障がい者計画、第8期宮古市障がい者福祉計画、第4期宮古市障がい児福祉計画の策定方針について
- 宮古市高齢者福祉計画、宮古市介護保険事業計画、宮古市認知症施策推進計画の策定方針について

ほかに議会に説明があったものは次のとおりです。

- 入札制度の見直しについて
- 普通財産(土地)の処分について
- 第3期宮古市成年後見制度利用促進計画の策定方針について

6月 定例会議



令和8年6月定例会議で話し合ってこんなことを決めました

6.1>>6.12

可決した主な条例・議案などの主な内容

安全と生活を守る

消防ポンプ自動車の購入

新里給食センターの真空冷却機・給食配送車の購入

宮古市火葬場条例の一部を改正する条例

川井火葬場の廃止に伴い、条例の内容を見直すものです。

地域基盤と文化

令和8年度一般会計補正予算
4億1,819万8千円 増額

令和8年度宮古市水道事業会計補正予算
6,550万円 増額

宮古市市税条例の一部を改正する条例

宮古市文化財保存活用地域計画協議会条例の制定

子どもと高齢者

令和8年度宮古市介護保険事業特別会計補正予算
86万2千円 増額

教職員定数改善に関する意見書の可決

子どもたちの学びをより良くするため、教職員の定数改善を国に求めるものです。



15件の議案を審議
令和8年6月定例会議は6月1日から6月12日までの12日間行われ、会議期間中の本会議日数は4日間でした。

提出された議案は、補正予算が「令和8年度宮古市一般会計補正予算(第1号)」、「宮古市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)」、「宮古市水道事業会計補正予算(第1号)」の3件、条例が「宮古市市税条例の一部を改正する条例」、「宮古市火葬場条例の一部を改正する条例」、「宮古市文化財保存活用地域計画協議会条例」の3件、「財産の取得に関し議決を求めることについて」が3件、人事に関する議案が「宮古市教育委員会の教育長の任命に同意を求めることについて」など5件であり、すべて可決しました。

また、請願1件を採択し、意見書1件も可決しました。

なお、補正予算を審査するにあたり、令和8年度の予算特別委員会委員長に竹花邦彦議員が、副委員長に小島直也議員が選出されました。

一般質問は2日間
一般質問は、6月2日と6月3日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政の重要課題について質問等を行いました。

【関連】一般質問の詳細は9ページからの記事をご覧ください。

令和8年度 宮古市一般会計補正予算など 15議案を可決

6月の定例会議
6月1日～6月12日
12日間

予算	3件
条例	3件
その他議案	8件
請願	1件
意見書	1件
一般質問	9人

6 月定例会議で可決した補正予算

	補正前の額	補 正 額	補正後の額
(1) 一般会計	367 億 7,900 万円	4 億 1,819 万円	371 億 9,719 万円
(2) 特別会計 介護保険事業特別会計	62 億 9,275 万円	86 万円	62 億 9,361 万円
(3) 企業会計			
水道事業 資本的収入	2 億 1,211 万円	6,550 万円	2 億 7,761 万円
水道事業 資本的支出	7 億 1,543 万円	6,550 万円	7 億 8,093 万円

事業名	補正前の額 補正額 補正後の額	事業内容
 生活保護事業および生活保護廃止世帯追加給付事業	12 億 2,300 万円 1 億 92 万円 13 億 2,392 万円	平成 25 年以降の生活保護基準引下げに係る最高裁判決により追加給付を行うもの。
 有害鳥獣被害防止対策事業	3,867 万円 720 万円 4,587 万円	申請件数の増加に伴い、電気柵等の購入補助金を増額。仮設型から常設型への移行が進んでいることから 1 件あたりの単価も増加。
 公共交通空白地交通確保維持事業	5,892 万円 75 万円 5,968 万円	箱石地区（崎山）でのデマンドタクシー（※）委託料。1 日 1 往復を週 2 回、通院、通勤や買い物需要に対応し、7 月から開始予定。
 企業立地推進事業	8,099 万円 6,550 万円 1 億 4,649 万円	宮古短大裏の新たな産業用地整備に伴い上水道配水管を敷設する費用を計上するもの。
 医療給付事業	3 億 8,071 万円 1,355 万円 3 億 9,426 万円	利用者、医療機関および市の事務負担を軽減するため、レセプト（診療報酬明細書）の共通化や、医療費助成のオンライン受給資格確認の導入に向けたシステムの改修。
 予防接種事業	1 億 5,224 万円 2,046 万円 1 億 7,270 万円	ワクチンの変更等に対応するため予防接種に係る費用助成範囲を拡充。拡充の対象は、高齢者の肺炎球菌及びインフルエンザ、小児のインフルエンザ。
 市営火葬場維持管理事業	6,978 万円 350 万円 7,328 万円	9 月末に廃止予定の川井火葬場について、解体工事の実施設計業務委託料を計上するもの。
 部活動地域展開推進事業	145 万円 362 万円 508 万円	中学校部活動の地域展開について、休日のクラブ活動費等の支援、経済的困窮世帯への参加費等の支援などを実施するもの。

表中の予算額は、1 万円未満の端数を切り捨てたものです。
※デマンドタクシー 事前予約に応じて運行するタクシーのこと
（デマンド（=demand）には、「需要」「要求」などの意味があります）

一般会計・特別会計・企業会計

令和 8 年度補正予算を可決しました

ココが×知りたい！

補 正 予 算 審 査

教 育



部活動地域展開推進事業

- Q 講師などへの謝礼は 1 時間あたりいくらか。
- A 教育部長
1 時間あたり 1 6 0 0 円を基準としている。

医 療



医 療 給 付 事 業

- Q マイナンバーカードを利用した医療費助成のオンライン資格確認システム導入に伴う改修メリットは。
- A 総合窓口課長
受給者については、病院ごとに提出している申請書が不要になり、医療機関も紙レセプトによる申請手続き対応がなくなる。市側のメリットとしては、審査のために毎月行っていた並び替え等の事務処理が不要となる。

社会 保障



生活保護廃止世帯追加給付事業

- Q 現在は生活保護を廃止している世帯にもプッシュ型で通知するべきではないか。
- A 福祉課長
生活保護廃止世帯への追加給付は、国が申し出制としている。国では、生活保護受給歴は、本人が他者に知られたくないと考えることが多い非常にデリケートな情報ととらえているからである。
例えば、生活保護廃止後に結婚した相手の方や、新たに同居した方に、生活保護の受給歴が露見するおそれが生じることなどである。

- Q 生活保護費の追加給付について、8 月上旬、申出受付開始とある。申請の時期を早めるべきだと思うがどうか。
- A 保健福祉部長
生活保護は法定受託事務で国がやる事務を地方公共団体が請け負っている。国が決めた日からでなければ、スタートできない。全国一斉の形になるので、宮古市だけ早めることができない。

交 通



公共交通空白地交通確保維持事業

- Q 箱石地区（崎山）のデマンドタクシーの運行開始にあたり、利用者の事前登録の現状はどうか。
- A 政策推進課長
通院が 5 名、通勤が 1 名を見込んでいる。6 月下旬に改めて説明会を開催し、事前登録を行う。

農 業



有害鳥獣被害防止対策事業

- Q 補助金を増額する補正に至ったのは、電気柵の単価が上がったためか、申請数が多かったためか。
- A 農林水産部長
これまで、電気柵は季節的に設置する仮設型のものが多かったが、最近は常設型の丈夫なものが増えており、単価が高い。
- Q 有害鳥獣から農作物を守るための電気柵とのことだが、どのようなものが対象となるのか。
- A 農林水産部長
農作物を守るための事業なので、専業農家や比較的大きい兼業農家に限るわけではなく、家庭菜園も対象。例えば柿の木が 1 本でも、収穫するのであれば対象になる。

交 通



公共交通利用環境整備事業

- Q 磯鶏駅の電気代の未納は見落としが原因だと考えられるが、他の公共施設に同様の事案はないと確認できているか。
- A 政策推進課長
本来ならば、工事検査完了後に名義変更するべき事案で、今後繰り返さないように、建築の担当とも情報共有し、本来の手順を改めて確認している。全庁で情報共有しており、他の施設での見落としについては、ないと認識している。

Q 西の玄関口の位置付けの門馬地域の振興策について

A 実現性の高い構想にするために意見交換し拠点施設となるよう検討を深める

古館 博 議員



問 今後の進め方について市としてのどのように考えているのか。

市長 現在の状況については、令和7年7月に川井地域振興会議や、本年4月の門馬地域自治振興協議会理事会において説明し、地域の皆さまと共有している。

旧門馬小学校の校舎や体育館について、企業から利活用の申し出が寄せられており、企業側で現地確認及び改修費用等の検討が行われているため、その回答を待っている。

問 川井地域の総意として要望された経緯を踏まえ、地域振興会議など後継の組織に対しても進捗説明が行われているのか。

市長 施設の在り方や建物配置などを整理した基本構想を令和5年3月に策定し、事業化に向けて意見交換を行ってきた。

問 「門馬地域公共施設再配置計画」は、門馬地域の今後の地域力や結束力に関わるものであり、早期の推進が必要だと考えるが、現計画の進捗状況は、どのようになっているのか。

市長 「宮古市の西の玄関口として門馬地域振興策」を実現性の高い構想にしていくために、地域活動の拠点となる適正規模の施設整備が図られるよう取り組んでいく。

地域の皆さまと意見交換しながら、出張所、地域振興センター、消防屯所の機能を備えた複合施設として、門馬地域の拠点施設となるよう検討を深める。



利活用の検討が進む旧門馬小学校

Q 市としても賃上げ支援の実施を

A 引き続き制度の周知に努める

落合 久三 議員



問 宮古商工会議所の「景況調査アンケート報告書」では「中東ウクライナ情に努める。

市長 県が実施している賃上げ支援金は、賃上げ額の約半分相当を直接支給する直接支援で賃上げを加速化する有効な制度と考える。本市では第一期、第二期を合わせて200事業者、1851人が活用しており、第三期の申請数は現在、67事業者、766人である。

本事業は、事業者の負担を軽減するもので、市として引き続き制度の周知に努める。



のぞまれる賃金引き上げ支援

問 岩手県は物価高騰対策賃上げ支援金事業を実施している。地域経済の状況は、県内の令和7年度企業倒産件数81件、休廃業421件と東日本大震災後最大である。宮古管内の有効求人倍率は0.95倍で県内下位グループであり、加えてイラン戦争の影響も大きく物価・資材高騰の下、地域経済は想像以上に低迷している。市として県の賃上げ支援に上乗せをすることがその大きな一助となると考えられる。財源は市勢振興基金をあてることが最適と考えるがどうか。

市長 4月22日に県市長会を通じて緊急要望を行い、6月には東北市長会、三陸沿岸都市会議で要望を予定している。

地域経済の実情を把握しながら、国・県の対策では行き届かない部分に交付金を活用するなど、市としても必要な支援を速やかに届けられるよう、準備を進めていく。

Q 墓石の傾き等のリフォームに対して補助を検討すべき

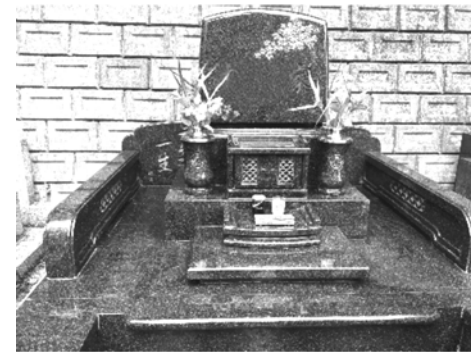
A 墓石修繕のニーズは少ない状況にあり優先度は低い

木村 誠 議員



問 過去に墓石リフォームの補助を検討したことはあるのか。

市長 市民相談室で市民の困りごとを受け付けているが、民間の墓所における、市民からの相談はない。



いつまでも変わらぬ敬意と感謝を

問 墓石リフォームの補助制度設立について

少子高齢化や人口流出に伴い、先祖代々の墓所を十分に維持管理できていないケースが多々見受けられるようになってい。墓石は長年の雨風にさらされていくために、汚れ以外にもひび割れや傾きなど劣化が進み、そのまま放置すれば転倒等の事故につながる危険性がある。しかし、そのような墓石の修繕には大きな経済的負担が生じるために、十分な修繕がなされず、結果として景観や安全面での課題が生じている状況にある。そこで、景観の保全、防災・安全の観点から、住宅リフォームに対して行っている補助制度のように生活環境の向上を目的とした支援が必要と考え、以下の点について伺う。

墓所の老朽化の実態をどのように把握しているのか。

市長 市民相談室で市民の困りごとを相談しているが、民間の墓所における、市民からの相談はない。

問 今後、墓地全体の安全性と景観の維持を図るために墓石リフォームへの補助や相談窓口の整備等、何らかの支援を検討する考えはあるか。

市長 市民からの困りごと相談は市民相談室が窓口となり対応し、必要に応じた支援策を検討できるよう、市民のニーズ把握に努めていく。

Q 消防、救急救命体制の強化を

A 消防、救急体制の維持・充実に努める

松本 尚美 議員



問 本市の分署においては、火災出動すると救急要請があっても救急車が出動出来ず救命率に大きな影響を与えている。当然に逆の事態が想定出来る。市民の財産を守り、隣家、近接山林への延焼防止を図るため、市内分署の消防ポンプ車の増車、消防士の増員が必要である。結果として分署管内の救急救命体制の維持、初期消火の強化が図られる。市長の所見を伺う。

市長 現状の消防力は、消防署と消防団が、相互に連携し対応しており消防力の維持が図られている。救急救命力は宮古地区広域行政組合、救急業務規程に基づき、維持が図られている。宮古署と各分署が迅速に連携して市民の救急救命や初期消火に寄与しており、現行体制で引き続き維持・充実に努める。

問 昨年6月、12月の一般質問の主旨は、若年層に対する様々な支援制度があっても流出が止まらない、転入が増えないのは、社会的に作られた男女差「ジェンダーギャップ」、無意識の思い込み「アンコンシャスバイアス」が壁と指摘している。施策課題として取り上げない



強化すべき分署体制

市長 若者の価値観や感覚的な判断材料を把握することは、効果的な施策を検討・推進するうえで、欠かせない重要な視点の一つと考える。

個別のヒアリング調査、少人数でのワークショップ、座談会が有効で、普段発信しにくい思いや、地域に抱く期待・不安などをすくい上げることが可能と考える。

問 本市の分署においては、火災出動すると救急要請があっても救急車が出動出来ず救命率に大きな影響を与えている。当然に逆の事態が想定出来る。市民の財産を守り、隣家、近接山林への延焼防止を図るため、市内分署の消防ポンプ車の増車、消防士の増員が必要である。結果として分署管内の救急救命体制の維持、初期消火の強化が図られる。市長の所見を伺う。

市長 4月22日に県市長会を通じて緊急要望を行い、6月には東北市長会、三陸沿岸都市会議で要望を予定している。

地域経済の実情を把握しながら、国・県の対策では行き届かない部分に交付金を活用するなど、市としても必要な支援を速やかに届けられるよう、準備を進めていく。

Q 女性の健康課題への支援強化を
A 相談と情報発信を積極的に行う

佐藤 和美 議員

佐藤 和美議員の一般質問動画はこちら▲



市長 更年期症状についても、ライフステージや性別による特性の違いに応じた健康支援が必要な課題と認識している。女性活躍推進法においても、女性特有の健康課題が社会全体での「働き方の課題」と位置づけられている。今後も相談対応や情報発信を積極的に行い、更年期症状への健康支援や働きやすい職場環境づくりに取り組む。また、市ホームページでセルフチェックができるサイトを紹介するとともに、「女性の健康推進室・ヘルスケアラボ」や男女共同参画通信「ふらっと」などを活用し、健康課題や相談窓口の周知を進める。



女性の健康と活躍支援

問 ■ 女性の健康と活躍支援
女性が高齢化する現代において、女性特有の健康課題への支援は重要性を増している。本市では更年期世代が女性人口の約5人に1人を占めており、人口減少と高齢化が進む中、働く世代の健康維持と活躍支援は地域経済や地域コミュニティを維持するうえでも重要な課題である。更年期症状による離職や就労継続の困難をどのように認識し、どのような支援を進めるのか。

市長 市内の公共施設にあるAEDの多くは夜間や早朝には使用できない。コンビニエンスストアとの連携協定を締結している自治体の事例は承知しており、導入自治体の効果を参考に研究する。また、日本救急医療財団の全国AEDマップとの連携、市ホームページでの周知も分かりやすいアクセス方法を検討し、市民への周知に努める。

問 ■ 救命環境の向上
AEDは市民の命を守るための重要な設備である。夜間や休日を含め、誰もが利用しやすい環境づくりに向け、AED設置の拡充や設置場所の周知について、市の考えを伺う。

市長

Q 国に対し原油・物価高騰に伴う経済対策
実施等の要望行動強化を

A 価格高騰対策や安定供給体制の確保等、
岩手県市長会等を通じ要望

竹花 邦彦 議員

竹花 邦彦議員の一般質問動画はこちら▲



市長 岩手県市長会を通じて4月22日に国への緊急要望を実施した。主な要望内容は、燃料や資材の価格高騰対策及び安定的な供給体制の確保、事業者への経営支援、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充等である。6月9日、10日には、岩手県市長会及び東北市長会、三陸沿岸都市会議で、国への要望を実施する予定である。

問 ■ 必要時には市としての経済対策の実施を
物価高に加え、中東情勢悪化に伴う原油価格高騰に由来する食料品、生活必需品等の値上げで、生活者の暮らしは一層圧迫されている。また、宮古商工会議所の緊急調査では、回答した市内事業者のうち92%が「影響を受けている」としている。原油高騰は国が責任を持ち対応すべき問題である。早急に国に対し経済対策の実施等の働きかけ、要望行動を実施、強化すべきと考えるがどうか。また、地域経済の実態を見極め、必要時には市の経済対策実施を検討すべきと考える。市長の基本姿勢は。

市長 令和7年度市民意識調査では、中心市街地における施設の充足に関する満足度が14・7点、地域医療体制が24・2点、公共交通の利用環境が30・6点となった。定住・定着できるまちづくりに向けては、宮古市総合計画の着実な推進を図り、行政分野における満足度を高めていく必要があると認識している。



広範囲に及ぶ原油・物価高騰による影響

問 ■ 用し、適切に対応したい。事業者等への状況調査を継続実施し、市として必要な支援の準備を進める。人口減少と定住・定着推進の課題について人口減少と少子高齢化への対応、若者が定住・定着できる産業振興と雇用の創出等が大きな市政課題となっている。人口減少を止めることは困難だが、定住・定着を推進するために、「暮らしやすい、住みやすい」と思えるまちづくりが重要な視点と考える。定住・定着に向けた施策について市長の考えを伺う。

Q 宮古市定住化促進奨学資金返還免除の成果と拡充は

A 9年間で61人の利用者、拡充の予定なし

花輪 政文 議員

花輪 政文議員の一般質問動画はこちら▲



市長 市の「宮古市移住支援金」や「新規学卒者及びU・Iターン者等就業奨励金」等の施策や国が実施する「高等教育の修学支援新制度」拡充などで教育機会の確保・充実が見られることから、返済助成金制度の拡充は現在のところ予定はない。

問 ■ 宮古市定住化促進奨学資金返還免除について
急速に進む本市の人口減少のなかで若年層の流出に歯止めをかけることが大きな課題である。将来を担う人材確保と定住化促進を目的として本市奨学資金貸付者を対象に平成29年度から実施している「宮古市定住化促進奨学資金返還免除」について、Iターン等を含め多くの若年層を本市へ迎え入れるための方策として日本学生支援機構等も対象とした返済支援助成金制度に拡充する考えは。

市長



若年層対策に奨学金返還の負担軽減を

高卒者の就職内定者数139人のうち管内就職内定者は36人（管内就職率は約26%）となっている。管内就職率を高めるための今後の対策は。

市長

Q より安全な避難を実効性のあるものとするための各計画の反映は

A 災害時の実態を踏まえ必要に応じ計画の見直しを行い実効性を高める

白石 雅一 議員

白石 雅一議員の一般質問動画はこちら▲



市長 当該PAは三陸道走行車を利用する駐車場のため、避難場所に指定していない。車での避難は高台広場に駐車してもらいたい。

問 ■ 津軽石PA（パーキングエリア）の位置づけは
4月20日発生の三陸沖地震では、県内の三陸沿岸道路で唯一のトイレ付PAである津軽石PAに多くの車が避難した。市の総合防災ハザードマップではPAは避難場所ではないが、隣接する馬越階段高台、津軽石公民館裏高台が津波避難場所であるため、今後有事の際は同様の事態があると考えられる。津軽石PAのあり方の検討は。



県内三陸沿岸道路唯一のトイレ付津軽石 PA

市長 津波避難計画では避難路が漁港から一本道である場合、交通混雑等の発生が無く地区全体が安全で有効な避難が行える場合、かつ、他に手段が無い場合の3条件を満たす地区は車避難を可能としている。

問 ■ 津波避難計画では避難路が漁港から一本道である場合、交通混雑等の発生が無く地区全体が安全で有効な避難が行える場合、かつ、他に手段が無い場合の3条件を満たす地区は車避難を可能としている。

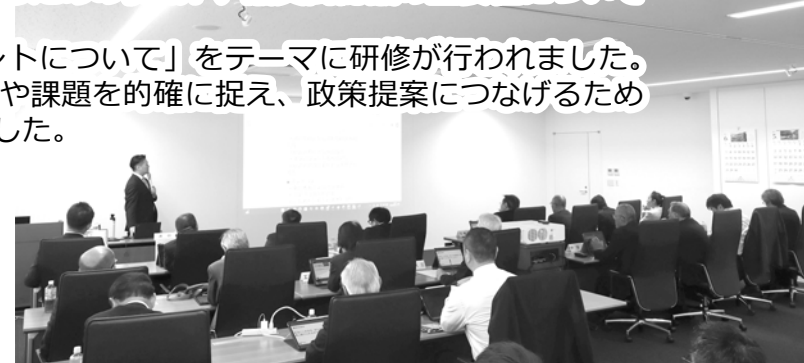
令和8年度第1回宮古市議会議員研修会を開催しました

5月13日、14日の2日間にわたり、令和8年度第1回宮古市議会議員研修会を開催しました。講師には、一般社団法人地方公共団体政策支援機構理事の渡辺太樹氏をお迎えしました。

1日目は「これから期待される宮古市議会とはなにか」をテーマに、人口減少や少子高齢化など地域を取り巻く課題が複雑化する中で、議会に求められる役割や機能について学びました。また、議会が市民の声を政策へつなげるための視点や、議員間討議の重要性について理解を深めました。

2日目は「一般質問の改善にむけたポイントについて」をテーマに研修が行われました。一般質問の目的を再確認するとともに、現状や課題を的確に捉え、政策提案につなげるための質問の組み立て方や考え方について学びました。

今回の研修を通じて、議会の政策形成機能の向上や、市民福祉の増進につながる議会活動の重要性を改めて認識する機会となりました。今後の議会活動に生かし、より開かれた議会を目指してまいります。



議会モニターへ委嘱状を交付しました

令和8年度、第1回目の議会モニター会議が5月29日に開催され、6名の皆さまを議会モニターとして委嘱しました。



はじめに、橋本議長からモニターの皆さまに委嘱状が交付され、「市議会では、市民の皆さまが市政や議会に関心を持ち、まちづくりに参画していただけるよう、様々な手段で、情報発信を行ってきました。そうした取り組みの中で立ち上げたのが、この『議会モニター制度』であり、皆さまの『市民目線』を、議会運営に活かそうと考えております」とのあいさつがありました。

議場を見学後、事務局職員が「議会モニターについて」説明を行い、質疑では、議会の生中継についての質問がありました。（※生中継については9ページをご覧ください。）モニター会議で出された意見等は、市議会運営の参考にさせていただきます。



全国市議会議長会表彰4名受賞

全国市議会議長会より、前議員を含む4名の表彰があり、6月1日の開会会議冒頭に、受賞者を代表して、橋本久夫議長、竹花邦彦副議長へ表彰状の伝達が行われました。



受賞された方は次のとおりです。

- 議員在職25年表彰
竹花邦彦議員
（初当選：平成10年3月）
- 議員在職20年表彰
工藤小百合議員
（初当選：平成18年5月）
長門孝則前議員
（在任期間：平成18年5月から令和8年4月）
- 正副議長4年表彰
橋本久夫議長
竹花邦彦副議長

このほかに同会から、全国市議会議長会産業経済委員会委員を務めた橋本久夫議長に感謝状が贈られました。

みやこ四季彩々

第1回

宮古にも夏本番の季節が訪れました。改選を経て新たな議会がスタートし、私も引き続き議長任重責を担わせていただくこととなりました。

夏といえば海。その海との接点である港には、この春から多くのクルーズ船が入港し、人々の往来がまちに新たな賑わいと活気をもたらしています。

宮古は古くから海によって外の世界と結ばれてきました。明治から昭和にかけて活躍した三陸汽船の時代、港は人や物資だけでなく、文化や情報を運ぶ玄関口でもありました。北海道での放浪生活を終えた若き歌人・石川啄木が上京の途上で宮古に上陸したのも、この船によるものでした。また昭和初期には、横綱栃ノ花をはじめとする大日本相撲協会巡業一行や、詩人高村光太郎、宮沢賢治らもこの港に降り立っています。海に囲まれた日本にとって、港は人と地域、そして世界を結ぶ大切な窓口です。先人たちが築いてきた交流の歴史を受け継ぎながら、その価値を

次の世代へ伝えていくことも私たちの役割ではないでしょうか。「絵になるみなのまち宮古」の実現を目指し、この港町が育んできた歴史や文化を次代へ語り継ぎながら、未来へつなげるまちづくりに努めてまいります。



議会広報編集委員会の新メンバー

議会の活動をわかりやすく伝えるよう頑張ります。

委員 花輪 政文

議会に関心をもち、もってもらえるような紙面づくりに努めます。

委員 八谷 光介

委員 中居 克広

市民と議会がつながるよう頑張ります。

議会をもっと身近に伝えていきます！

副委員長 植田 収一

読みやすく、皆さまに興味をもってもらえるような広報を作ります。

委員長 佐藤 和美

委員長 古舘 博

2期連続となりました。よろしくお願いします。

編集後記

編集委員長 古舘 博

この度、改選を経て本市議会第7期の新しい議会体制となり、議会広報編集委員会のメンバーも一新されました。このメンバーで4年間、16回の予定で議会広報の発行に取り組んでまいりました。よくお願いいたします。よろしくお願いします。

昨年発行の第82号から皆さまの手に取って読んでいただけたよう、紙面等の改革に取り組んでまいりました。市民の皆さまの声を発信し、継続することにしたので、引き続きのご協力をお願いいたします。併せて市民の皆さまのご意見などお寄せいただきましたら幸いです。

原油価格高騰に伴う物価高騰の続く中ではありませうが、一刻も早くホルムズ海峡の平穏化と安定的な日常に戻ることを祈るものです。

暑さ極まる候、市民の皆さまには、熱中症対策を行いながら実り多き秋をお迎えください。また、来年の選挙も、市民の皆さまの投票をお願いします。



特集

未来へつなぐ 川井の舞茸

地域の宝を次世代へ

令和9年度から、まいたけ研究開発センター事業は川井産業振興公社に承継されます。議会広報編集委員会では、地域の特産品として長年親しまれてきた「川井の舞茸」を取材しました。

宮古市まいたけ研究開発センター

佐々木加工部長

川井地域は冷涼な気候と豊かな森林環境に恵まれ、舞茸の生育に適した土地です。原木露地栽培では、自然の力を生かしながら一年をかけて育てることで、香り高く肉厚な舞茸が生まれます。

川井産業振興公社の佐々木加工部長は、「舞茸は出汁が命」と語ります。舞茸は乾燥や冷凍によって細胞壁が壊れ、旨み成分がより引き出されるため、加工品との相性も抜群です。その特性を生かし、公社では舞茸の魅力を手軽に味わえる商品づくりを進めています。

主な商品は、「川井舞茸だしつゆ」「原木舞茸炊き込みご飯のもと」「川井まいたけ（冷凍）」の3種類。だしつゆは、原木舞茸の豊かな旨みが凝縮された万能調味料で、そばやうどんはもちろん、煮物や炒め物にもおすすめです。炊き込みご飯のもととは、舞茸の出汁ごと炊き込むことで香りと旨みを存分に楽しめまます。また、今年から販売が始まった冷凍舞茸は、解凍せずそのまま調理することで、より豊かな出汁を引き出せる商品として注目されています。

取材を通じて、「市民が舞茸を食べてこそ地域の宝が生きる」という部長の言葉が印象に残りました。地元飲食店の活用や新たなレシピの開発を進めながら、川井の舞茸を地域の食文化として未来へつないでいく取り組みが続いています。

商品紹介

川井舞茸だしつゆ

原木舞茸の旨みが引き出された万能つゆ。そばはもちろん、煮物や炒め物、炊き込みご飯にもおすすめです。



原木舞茸炊き込みご飯 (2合用)

舞茸の出汁ごと炊き込むことで旨みを最大限に引き出します。炊き上がる瞬間の香りも格別です。



川井まいたけ（冷凍）

さまざまな料理にお使いいただけます。原木露地栽培ならではの食感と香りをお楽しみください。



使いやすい冷凍タイプ！

議会広報編集委員会オリジナルレシピ

材料（1人分）

パスタ：80～100g
川井まいたけ（冷凍）：100g 程度
バター：10g
川井舞茸だしつゆ：小さじ1～1.5
にんにく（チューブでも可）：1cm 分ほど
オリーブオイル：大さじ1
塩（パスタゆで用）：適量
黒こしょう、パセリ（お好みで）：適量

作り方

- ①パスタを表示時間より1分短めにゆでる。
- ②フライパンにオリーブオイルとにんにくを入れ、香りが出るまで弱火で加熱する。
- ③冷凍舞茸をそのまま加え、中火で炒める。
- ④バターを加え、舞茸に火が通ったら舞茸だしつゆを加える。
- ⑤ゆで上がったパスタを加えて全体を和える。
- ⑥お好みで黒こしょう、パセリをふりかけて完成。

原木舞茸の
アーリオ・オーリオ
和風仕立て

